

平成25年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書

名古屋大学動物実験委員会

平成26年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 平成 19 年 3 月 12 日 規程第 71 号 (改正：平成 19 年 3 月 28 日 規程第 106 号, 平成 20 年 3 月 31 日 規程第 117 号, 平成 22 年 3 月 16 日 規程第 43 号, 平成 24 年 3 月 21 日 規程第 89 号, 平成 25 年 6 月 18 日 規程第 10 号, 平成 26 年 3 月 26 日 規則第 125 号)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば, 明記する。)
機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針
該当しない

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 ・全学動物実験委員会名簿 ・各部局の動物実験委員会規程 ・各部局の動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば, 明記する。)
全学動物実験委員会及び部局動物実験委員会が設置され, 適正に運営されている。
4) 改善の方針
該当しない

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案, 審査, 承認, 結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し, 動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 ・各部局の動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案，審査，承認，結果報告の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針 該当しない

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験，感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが，一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は，行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 ・名古屋大学組換え DNA 実験規程 ・名古屋大学研究用微生物安全管理規程 ・名古屋大学安全衛生管理規程 ・名古屋大学化学物質等安全管理規定 ・名古屋大学放射線安全管理規定 ・医学系研究科実験動物部門利用の手引き ・医学系研究科実験動物部門緊急対応マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針 該当しない

5. 実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され，各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し，適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが，一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 ・各部局の動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各部局委員会が飼養保管施設とその実験動物管理者を把握できる体制となっている。
4) 改善の方針 該当しない

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当しない

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学動物実験委員会議事録 会議開催：2回（平成25年5月21日，平成25年11月5日） 書面審議：0回 ・各部局の動物実験委員会議事録 会議開催：14回（7部局） 書面審議：159回（8部局）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程に基づき適正な委員会活動を実施している。
4) 改善の方針 該当しない

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案，審査，承認，結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・各部局委員会から提出された動物実験計画書の審査状況や実施状況の把握に関する資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案，審査，承認，結果報告が適正に実施されているが，部局委員会間での審査情報の共有化について平成24年度に引き続き検討した。
4) 改善の方針 動物実験計画書の審査にあたり，記載内容に不備があれば各部局委員会が適切な指導を行うことが再確認された。また東山地区については，名古屋大学動物実験支援センターが必要に応じてその支援を行うことになった。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

（当該実験が安全に実施されているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが，一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は，行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料（安全管理上の事故等があれば，事故記録を対象とする） ・各部局委員会から提出された安全管理上注意を要する動物実験計画の実施状況に関する資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば，明記する。） 安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当しない

4. 実験動物の飼養保管状況

（実験動物管理者の活動は適切か？飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し，適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが，一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・各飼養保管施設の飼養保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば，明記する。） 飼養動物数の大半を占めるマウス・ラットなど齧歯類の実験動物に加え，鳥類や大型哺乳類の飼養保管マニュアルも作成し，全ての施設について飼養保管マニュアルを整備している。

4) 改善の方針

該当しない

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に, 改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し, 適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが, 一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・各部局委員会から提出された飼養保管施設の設置承認状況に関する資料
- ・各部局委員会から提出された動物実験室の設置承認状況に関する資料

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば, 明記する。)

飼養保管施設 (総数8部局、90箇所 (このうち主要飼養保管施設は、医学部及び環境医学研究所)) や動物実験室は各部局の動物実験委員会により適正に審査承認されている。各部局委員会は承認後3年を目処として各施設等の設置状況を確認し, 適正な維持管理に努めている。老朽化していた環境医学研究所の動物実験施設は名古屋大学動物実験支援センターとして平成25年8月から稼働した。一方, 鶴舞地区の動物実験施設については将来的な改修・改築計画の検討を行っている。

4) 改善の方針

飼養保管施設の補修や改善の必要性について, 今後も継続的に調査を行う。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者, 動物実験実施者, 飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し, 適正に実施されている。
- 概ね良好であるが, 一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・名古屋大学動物実験講習会実施状況
講習会実施回数: 28回
(4/8,9,24,25,5/9,28,6/4,25,7/12,30,31,9/11,25,10/2,30,11/17,20,22,27,12/18,1/15,27,2/21,26,3/26 ※10/2は2カ所,3/26は3カ所,キャンパス内で各々実施)
講習会受講者数: 442名
- ・名古屋大学動物実験講習会資料

<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 1. 関係法令等，本学の定める規程等に関する事項 2. 動物実験等の方法に関する基本的な事項 3. 実験動物の飼養保管に関する基本的な事項 4. 動物実験等，実験動物，施設等に係る安全確保及び安全管理に関する事項 5. その他適切な動物実験等の実施に関する事項
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば，明記する。） 実験動物管理者，動物実験実施者，飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当しない

7. 自己点検・評価，情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価，関連事項の情報公開を実施しているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し，適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが，一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・各部局から提出された平成25年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書用資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば，明記する。） 平成25年度の動物実験に関する自己点検・評価結果を本報告書にまとめ，平成26年7月を目処に名古屋大学のホームページで公開する予定である。
4) 改善の方針 該当しない

8. その他

（動物実験の実施状況において，機関特有の点検・評価事項及びその結果）

1) 名古屋大学動物実験委員会の構成（別紙1） 名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 第8条第1号に掲げる委員：教授8名，准教授6名 第8条第2号に掲げる委員：准教授1名 第8条第3号に掲げる委員：准教授1名
2) 各部局の動物実験委員会の構成 名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 第16条による部局委員会総数：9 委員総数：57名(教授30名，准教授14名，講師0名，助教12名，技術専門職員1名)
3) 平成25年度の名古屋大学における実験動物種毎の飼養保管数（別紙2）

4) 平成25年度の名古屋大学における動物実験計画書の審査状況と特に注意を要する動物実験の実施状況 (別紙3)

動物実験委員会委員名簿

平成25年7月1日現在
(任期：H25.4.1～H27.3.31)

部 局 名	職 名	役割 (※)	専門分野	備考 (規程)
文 学 研 究 科	准教授	3	西洋文学・西洋語学	2号委員
理 学 研 究 科	教 授	1	情報機構学	1号委員
医学系研究科 (鶴舞)	教 授	1	生物化学	1号委員
	准教授	2	実験動物学	3号委員
医学系研究科 (大幸)	教 授	1	基礎・臨床看護学	1号委員
工 学 研 究 科	教 授	1	生物機能工学	1号委員
生命農学研究科	教 授	1	応用生命化学	1号委員
環 境 学 研 究 科	准教授	1	認知神経科学	1号委員
創 薬 科 学 研 究 科	教 授	1	創薬生物科学	1号委員
環 境 医 学 研 究 所	教 授	1	病態神経科学	1号委員
医 学 部 附 属 病 院	准教授	1	糖尿病・内分泌内科学	1号委員
アイソトープ総合センター	准教授	1	発生生物学	1号委員
生物機能開発利用研究センター	准教授	1	動物細胞機能学	1号委員
細胞生理学研究センター	准教授	1	構造生理学	1号委員
動物実験支援センター	教 授	2	実験動物学	1号委員
総合保健体育科学センター	准教授	1	健康・スポーツ医学	1号委員

※役割とは、文部科学省の指針に示された以下のことを示す。

1. 動物実験等に関して優れた識見を有する者
2. 実験動物に関して優れた識見を有する者
3. その他学識経験を有する者

平成25年度の名古屋大学における実験動物種毎の飼養保管数(匹・日)

別紙2

動物種	理学	医学	保健学	工学	生命農学	環境学	創薬	環研	保体セ	動物支援セ	合計
マウス	158,742	7,497,000	116,916	11,235	969,222	0	31,642	473,489	1,970	250,711	9,510,927
ラット	0	186,884	25,496	0	93,543	0	0	33,626	0	3,381	342,930
ハムスター	0	245	0	0	114,975	0	0	0	0	0	115,220
モルモット	0	196	0	0	0	0	0	0	0	0	196
スンクス	0	0	0	0	29,200	0	0	0	0	0	29,200
ウサギ	2,334	27,502	56	0	1,815	0	0	3,419	0	0	35,126
イヌ	0	3,990	0	0	0	0	0	0	0	0	3,990
ブタ	0	1,117	0	0	0	0	0	0	0	0	1,117
ヤギ(シバヤギ)	0	0	0	0	28,600	0	0	0	0	0	28,600
ウシ	0	0	0	0	11,500	0	0	0	0	0	11,500
モモンガ	0	0	0	0	3,650	0	0	0	0	0	3,650
ニワトリ	0	3,000	0	25,300	772,229	0	0	0	0	0	800,529
ニワトリ種卵	17,420	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,420
ウズラ	0	0	0	0	77,649	0	0	0	0	0	77,649
ウズラ種卵	6,240	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,240
シマヘビ	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72
トカゲ	0	0	0	0	92	0	0	0	0	0	92

部局	動物実験計画書					注意を要する動物実験計画	
	申請	承認	新規	継続	終了中止#	組換え	その他*
理学研究科	21	21	1	20	0	6	0
医学系研究科	496	496	90	406	236	241	27
医学部保健学科	40	40	12	28	3	3	0
工学研究科	6	6	1	5	0	4	0
生命農学研究科	107	107	24	83	27	20	0
環境学研究科	7	7	7	0	0	0	0
創薬科学研究科	6	6	2	4	1	3	0
環境医学研究所	74	74	19	55	37	44	0
総合保健体育科学センター	4	4	0	4	0	0	0
動物実験支援センター	5	5	5	0	1	3	0
全体	766	766	161	605	305	324	27

終了中止届が提出された全計画書について結果報告書の提出を確認

* ABSL2、P2Aの感染実験、毒性実験